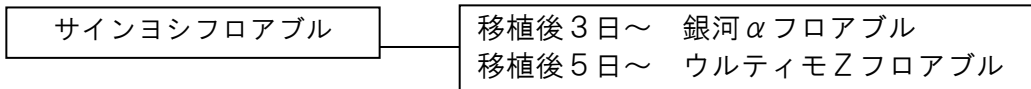


田植時の除草体系

今年の育苗期間は寒暖差が大きく、温度管理に苦慮されたことと存じます。移植後は気温も高く推移し、雑草の発生が懸念されますので以下を参考に対策を講じてください。

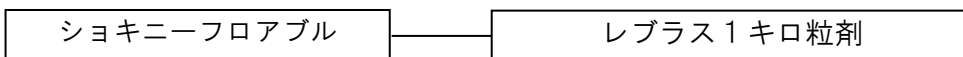
1. [ホタルイ]の除草剤体系

第1案（4成分）代かき後～移植前7日



第2案（6成分）移植直後～

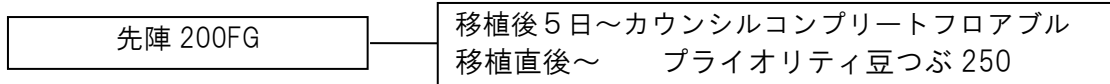
5月末～



2. [オモダカ]の除草剤体系

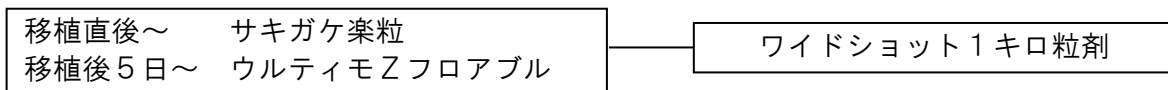
第1案（5成分）植代後～移植前7日又は移植直後

5月末～



第2案（5成分）

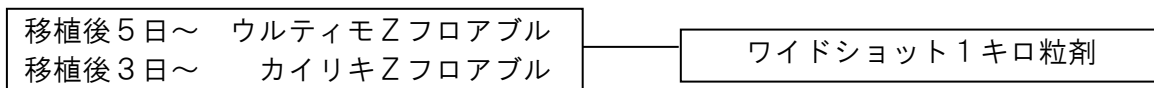
6月上旬～



3. [コナギ]の除草剤体系

（5成分）

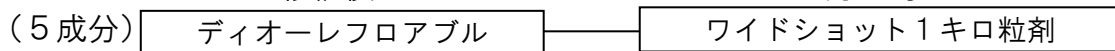
6月上旬～



4. [クログワイ]の除草剤体系

移植後1日～

6月上旬～



5. [イボクサ]の除草体系

移植後3日～

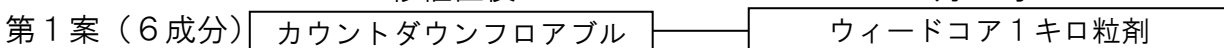
6月上旬～



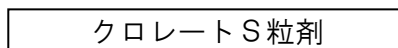
6. [マツバイ]の除草剤体系

移植直後～

6月上旬～



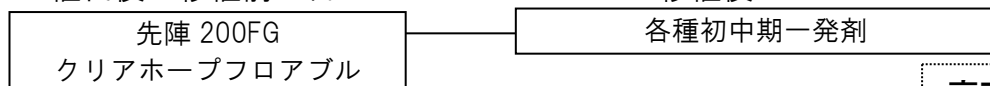
第2案（1成分）・・稲刈り直後



※ 表層剥離等での除草剤の拡散抑制による効果低下が懸念される場合

植代後～移植前7日

移植後～



裏面有り

区分	薬剤名	成分名及び含有量 (%)				成分数			
初期剤	スタメンフロアブル	イプフェンカルバゾン	3.9			1			
	サインヨシフロアブル	ヘントキサゾン	8.6						
	エリジャン乳剤	ブレチラクロール	12.0						
	先陣 200FG(2 kg)	ピラクロニル	7.5	ジメタメリン	1.5	2			
	クリアホープフロアブル	ヘントキサゾン	4.0	ACN	18.0				
	テマカットフロアブル	ヘントキサゾン	7.2	ダイムロン	28.0				
	ショキニーフロアブル	ヘントキサゾン	4.0	プロモブチド	18.0				
初・中期一発剤	カウンスルコンプリートフロアブル	(注) トリアファモン	0.97	テフリルトリオン	5.8	2			
	プライオリティ豆つぶ 250	(注) トリアファモン	2.0	フェンキトリオン	12.0				
	サキガケ薬粒	イプフェンカルバゾン	10	テフリルトリオン	12.0	3			
	カイリキZフロアブル	プロピリスルフロン	1.75	テフリルトリオン	4.8		イプフェンカルバゾン	4.8	
	イネキングフロアブル	ピラクロニル	3.6	ピラゾレート	20.0		ベンゾピシクロン	4.0	
	ウルティモZフロアブル	プロピリスルフロン	1.65	ピラゾレート	11.0		シクロピリモレート	5.5	
	銀河αフロアブル	メタゾスルフロン	2.0	ピラクロニル	4.0		ダイムロン	20.0	
	カウントダウンフロアブル	(注) トリアファモン	0.95	フェンキトリオン	5.7		フェントラザミド	5.7	
ディオーレ顆粒	オキサジクロメホン	5.0	テフリルトリオン	25.0	メタゾスルフロン	12.5			
中・後期剤	トドメ MF1 キロ粒剤	メタミホップ	1.35			1			
	ワイドショット1 キロ粒剤	テフリルトリオン	3.0	ペノキススラム	0.5	2			
	ウイドコア1 キロ粒剤	フロルピラウキシ フェンベンジル	0.4	ペノキススラム	0.5	ベンゾピシクロン	2.0	3	
	レブラス1 キロ粒剤	メタゾスルフロン	1.2	ジメタメリン	1.0	テフリルトリオン	3.0	ダイムロン	10.0

(注)：後作に玉ねぎの作付けを予定している圃場には薬害が懸念されるため「トリアファモン」の成分が含まれている薬剤の使用は避けてください。

・近年ボートによる除草剤散布も増加傾向にありますが、フロアブル剤や乳剤の希釈散布は拡散性能の低下による除草効果不足や、薬液が水稻茎葉部に付着することで薬害が発生する恐れがあるので絶対に行わないでください。

・ハウス周辺等に除草剤を散布する際は、近隣ハウスへの飛散に十分注意してください。

「水稻技術情報」<https://www.ja-ogata.or.jp/farming2/>をホームページで閲覧の際は、これまで必要だったパスワード入力なしで閲覧可能になりました。※水稻以外の技術情報は、パスワードの入力が必要です。